

# 『臥龍梅』 蔵便り

平成二十七年神無月



拝啓 朝夕はめっきり冷え込むようになりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。



巨大な杉玉の前で



今月もご報告することが盛りだくさんです。9/24 から 9/27 にかけて台北に出張してまいりました。**日本酒主義 2015 Japanese Sake Exhibition** というイベントに参加するためです。今年は何とか日程が調整できたので、台湾での代理店、鈴樽さんへのご挨拶を兼ねて出掛けたものです。台北市内の松山文創区 4 号倉庫という会場に入ってびっくり。何でもタバコ工場だったという古い大きな木造建築なのですが、広い会場内に日本酒のブースがぎっしり並んでおり、その数なんと 84 社！こんなに多くの銘柄が進出しているとは思ってもみませんでした。初日の 9/25 はレストラン関係者等の酒類業界バイヤー、9/26.27 は一般の日本酒ファンに利き酒してもらい、気に入ったお酒を購入していただくという趣向です。会場内では、**盲飲活動区**(利き当てをするコーナー)、**達人帯路酒造導覧**(台湾人の利き酒師の方が初心者連れを連れて説明しながらのブース回り)、**日本酒教育館**(専門家の講演会)等、さまざまアトラクションが催されて大いに盛り上がりました。来場者数は三日間あわせて 3,000 人超とのこと。台湾では今日本酒ブームだそうですが、納得です。印象的だったのは早足で弊社ブースに駆けつけて試飲はけっこうと言いながらお買い求めいただいたバイヤー。最初から臥龍梅を購入目的で来場されたのです。それと、全部のブースを廻って試飲したけれど、臥龍梅の開壇十里香が一番美味いからとにかく

飲んでみろと言って、知り合いのお客さんを連れて繰り返しブースに足を運んでくださったお客様。味に国境はないのだ、精進して美味しいお酒を造る努力を続けていけば、きっと世界で認めてもらえるに違いないと意を強くしました。最終日の 9/27 には会場から直接空港に向かい大忙しで帰国しました。静岡県が**在京大使スタディツアー**というイベントを企画し、翌々日の 9/29、自宅に海外からのお客様をお迎えする予定だったのです。日本酒を海外にアピールする機会と考えてお受けしました。その名のとおり、タイ、ペナン共和国、ギリシャ等、各国の大使、公使の皆さん 15 名をお迎えし、日本酒について簡単な講義をした後、利き酒会を催しました。提供した臥龍梅はどれも好評でしたが、ことに金賞受賞の大吟醸が大絶賛でした。国際親善に一役買った次第です。様々な商品が完売してしまいご不自由をおかけしております。誠に申し訳ございません。先月の 23 日に蔵人が蔵入りし、既に 1 本目の留めを仕込みました。もうしばらくお待ちください。



自宅離れの前で



今月は**備前雄町 50%精米の純米大吟醸袋吊斗壺囲い**と**無濾過原酒**をご案内いたします。どちらも生酒ですが夏を越して一段と味がのってまいりました。数に限りがある商品ですのでお早めにご注文ください。

深まりゆく秋、皆様ご自愛ご専一に。

平成 27 年 10 月 吉日

敬具

鈴木 克昌